

大人のチカラ

18

～子どもたちの未来のために～

地域で子どもを育てる③

子どもの心に 種をまく

近年の子どもは、屋外での体験・交流活動や地域の大人との触れ合いが足りないとされています。個人主義の保護者が増えたり、近所付き合いが不足するなど、地域による教育力の低下が影響しているようです。

地域の活動減少 希薄化する人間関係

「最近、授業中じっとして
いない子どもが増えている
要因の一つに、学校外、つ
まり地域での人間関係の希
薄化があるのでは」と、香
川大学生涯学習教育研究セ
ンター長・清國祐二教授は
分析します。

「学校の外でも遊び仲間が
いれば、人間関係のバラ
ンス感覚も働き、教室内で仲
間への気遣いもできると思
います」とも話します。

「幼いころ、人に迷惑をか
けた、世話になったという
経験が誰にでもあると思
います。迷惑をかけることは
敬遠されがちですが、その
経験がないと、いろいろな
人に支えられて生きている
ということが実感できませ
ん」と清國教授。

「学校の外でいろいろな経
験をさせること
で、『人間関係力』
を養うのはもちろ
ん、子どもの才能
を見つめるきっか
けになるかもしれ
ません。そのとき
何が身に付いたか
は、ある程度年を
重ねないと分か
り

「生活スタイルの変化ととも
に、地域の大人同士が協
同する場面が少なくなっ
ています。子どもたちにもそ
の影響が及んでいるのです。

**学校の外で経験積み
人間関係力を養う**

「子どもたちが、どんな芽が出る
にせよ、種をまかないと芽
は出てきません」と清國教
授は話し、「特に地域に代々
伝わる伝承や行事は、地域
だからこそ教えられること。
保護者はもっと子どもと地
域との関わりを持たせるよ
うにしましょう」と訴えま
す。

